

よなかまと

札幌市立中島中学校
学校通信 第4号
令和8年1月15日

「3学期を迎えるにあたって」令和7年度3学期始業式 講話より

校長 桑原 俊二

新年あけましておめでとうございます。地域・保護者の皆様、全校生徒の皆さん、本年もよろしくお願ひいたします。

新年を迎える、3学期がスタートしました。まずは、冬休み中、大きな事故などに遭うことなく、元気な皆さんと会えたことを大変うれしく思っております。

皆さんの冬休みはどのような冬休みだったでしょうか。よい思い出はできたでしょうか。受験勉強をはじめ学習に力を注いだ人、部活動に一生懸命取り組んだ人、家族との充実した時間を過ごした人、中にはのんびりし過ぎて計画通りにできなかつたと悔やんでいる人もいるかと思います。充実した冬休みを過ごした人も、また、そうでなかつた人も、今日の始業式を区切りに、気持ちを入れ替えたり整えたりして、1年間の締めくくりとなる3学期を新たな気持ちでスタートさせてほしいと思います。

さて、新年に当たり、新たに、また、あらためて、頑張ろうという決意をした人も多くいることと思います。明るい未来を信じて、自分自身の可能性を信じて、皆さんそれぞれ頑張ってほしいと願っています。

明るい未来をつくるために大切なことは、「今という瞬間に最善を尽くそうとする」ことだと私は思っています。

人の生きざまというのは、点ではなく線です。その線は、今という瞬間の点がつながって線になっています。「今すべきことに最善を尽くす」ことの連続が明るい未来を、そして人生をつくるのです。

とは言っても、私自身もちろんそうですが、全ての瞬間において常に全力で取り組むことは、とても難しいことです。今という点をつなぐ人生という線は、右肩上がりに斜め上に向って伸びていくことが理想ですが、時には、頑張り切れなかつたり、途中で手を抜いてしまったり、さぼったりする時、点があるため、時に、右肩下がりになることがあるのが当たり前です。

全力で頑張れるか、頑張れないかという自分自身との戦いが常にありますが、その戦い

に6勝4敗で勝ち越すことができれば十分です。7勝3敗であれば素晴らしいと思います。人生は、上がったり下がったりしながら、長い時間軸で全体を見ると、右肩上がりの折れ線グラフになればよいということです。

1年間の締めくくりに当たる3学期の登校日数は、40数日しかありません。3年生の皆さんにとっては、この40日が、中学校生活の、そして義務教育の締めくくりとなります。受験まで残り僅かという人も多いことと思います。焦らず平常心で、体調に十分注意しながら、できる範囲で自分なりの努力を積み重ねてください。

1年生、2年生の皆さんにとっては、この40数日が、進級に向けた1年間の仕上げの時期となります。しっかり学習することはもちろんですが、様々な経験を通して人間的にもさらに成長してほしいと思います。

大切なことは、「今という瞬間を精一杯生きる」ことです。「そのうちに」とか「後で」とか言い訳をしていると、そのいい加減さの延長線上にある未来も、いい加減なものになってしまいます。繰り返しになりますが、自分自身との勝負に勝ったり負けたりしながら、少なくとも6勝4敗で勝ち越すことができるよう、今という瞬間を大切にして、3学期を過ごしてください。

最後に皆さんにお願いがあります。年末の終業式でも話しましたが、皆さん、どうか自分の命を大切にしてください。交通事故をはじめ事故に遭わないよう十分に注意し、自分の命を大切にする行動を心がけてください。

また、何か困ったことや自分では解決が難しいような悩み事があったら、是非周りの大人の人に相談してください。ご家族や先生など誰でも構いません。必ず皆さんを助け、力になってくれますし、支えてくれます。勇気を出して相談することはとっても大切なことです。

加えて、いつも話すことですが、インフルエンザなど感染症の予防にも引き続きしっかりと取り組んでください。

午年（うまどし）の令和8年が始まりました。年末にも話ましたが、午年（うまどし）の午（うま）は、元気に力強く走ることから、活力や前進、成功を象徴し、新たな挑戦や自分の殻を破って飛躍をするのに良い年であるとされています。

皆さん一人一人にとって、良いことがある、願いが叶い、飛躍する、そんな良い年になるよう願っています。